



滋賀県アクティブハイスクール支援事業

ホ ン ダ フ ル  
本 d e r f u l !

～ 自分を 世界を 未来を 拓く ～

## 読書感想文コンクール

第32回全国高校生読書体験記コンクール・中央審査

入選 1名

### 集中講義

～講師の先生をお招きして読書について～



「本ってなんで読むの？」

2013年1月24日(木)・25日(金)・30日(水)

講師 猪飼由利子 氏

対象 1学年

準備 1学年本ダブル委員会・図書委員会

猪飼先生の講義も8年目  
講義の内容の一部を紹介

**\* 苦しい人生を生き抜くことについて考える \***

公開中の映画「レ・ミゼラブル」の原作本

**\* 意志あるところに道あり \***

白洲正子著「かくれ里」との出会い

**\* 本との出会いについて考える \***

京都新聞ジュニア版「みんな小学生だった」

アルピニスト・野口健さん

## ＊生徒の感想より＊

本を通じて思ったこと感じたことは心の中に貯まっていくんだなと思いました。

好きな作家の本しか読まなかった私ですが、  
いろいろな本を手にとって、いろいろな世界を疑似体験したいと思います。

人それぞれ大変な思いや辛い思いがあり、  
それをどうやって乗り越えていくかヒントが得られた1時間だった。  
とても為になる時間を過ごせた。

全部が印象に残っていて感動しました。

私は本とか全然読まないけれど、初めて色々な本を読んでみたくなった。  
自分のお気に入りの、誰かに紹介出来るような大切な本を見つけたいくなりました。

## 講演会

～集団読書した本の著者をお招きしてより深いお話を伺います～



「自然科学を学ぶ～フクシマから見えるもの」

2012年10月23日（火）

講師 安齋 育郎 氏

読書 「福島原発事故」かもがわ出版 刊

対象 1・2学年

進行 2学年本ダブル委員会

**東日本大震災から1年7ヶ月が過ぎました。**

**遠く離れた地域に住む私たちが  
あふれる情報を正しく受け止める視点について  
講演していただきました。**



**科学的なものの考え方につながる手品を教えてくださいました**



### **\* 生徒の感想より \***

まだ3月11日の記憶も新しく、放射線のことを気にしていたので、とても興味深かった。  
見えないものを怖がるのではなく、放射能のことをよく勉強するのが大切なのだと知った。(2年生)

安齋さんはユーモアのある方で、とても面白い講演でした。

手品は人を楽しませるだけのものだと思っていたけれど、  
その裏には思い込みにつながる「経験を絶対化する」危険性や、  
人は騙されやすいことを表していることを知ってびっくりしました。  
後半は原発の話が中心でしたが、他人事ではないと痛感させられたし、  
よく考えていきたいと思いました。(2年生)

私にとってとても難しい内容でしたが、逆に興味深い話でもありました。

「正しいことを知る」ということは大事だと改めて思いました。

福島の事故から1年以上が過ぎた今でも、まだ放射線があり  
大変だということなど、すごく勉強になりました。

こういった本を読みたいと思えるようになりました。(1年生)

手品は面白かった。それと同時にネタがあると分かっていても、  
実際に自分の目で見ると信じ込んでしまうと思った。

放射能についてはあの事故がないとこうして知る機会もなかったと思う。

良い点も悪い点も、これからどうすべきか考えたいし、  
なぜ原子力発電がこんなに作られたのか知りたい。(1年生)